

[様式 9-1]

## 福祉サービス等第三者評価結果

## 総合評価

受診施設名	たかつかさ保育園	施設種別	保育所 (旧体系: )
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

令和 2 年 1 月 21 日

総評	<p>京都市の西北部に位置し、周辺には金閣寺や龍安寺などの観光名所や、大学や高校などの学校が多くあり、UR花園団地に隣接した落ち着いた環境にある保育園です。</p> <p>「遊び」と「生活」の充実こそが、乳幼児期に適した保育との考えを大事にしており、「ヒト・モノ・コト」が整った豊かな環境の土台の上で、「どの子も大事」「その子らしさ」を大切に、職員みんなで考えた保育への想いを交えて保育をつくっていけるよう取り組んでいます。</p> <p>また、「乳児ブロック条約」と題して「子どもの名前を呼び捨てにしない」「急に後ろから抱き上げない」「食事や排せつ、着替えなどの生活習慣を担任が丁寧に行う」を掲げ、乳児対応職員を中心に全職員が同じ目線で子どもと接し保育が実践できるよう努めています。</p> <p>日々の子どもたちの様子をエピソード記述にして保護者に細やかに知らせ、保護者からのメッセージを交換する「育ちの記録」を全園児を対象に実施しており、子どもの日々の行動や内面の成長を保護者と共有できるよう工夫しています。</p> <p>保護者との関係は、大切に考えており、保護者主催のバザーなどの開催で、交流を深めています。地域の人たちに支えられながら、地域に貢献する社会福祉施設として、その役割を担っています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>人員体制に関する基本的な考え方や人事管理に関する方針が確立されています。就業状況や意向の把握に努め、労務管理面もタイムカードの導入や残業、有給休暇の取得の把握など、法令順守による業務内容の改善を実施しています。</li> <li>蚕の繭からの生糸採りに、ボランティアで技術援助を受けると共に、そこからの繋がりで美山町の「京都桑田村」との交流に発展し、年に数回園児が現地に訪れたり合宿を行うなど、蚕飼育を通して美山町との交流を積み重ね、子どもたちの体験が充実したものとなるよう取り組んでいます。</li> <li>子どもを尊重した保育について、特に力を入れており、子どもの権利条約をベースに「どの子も大事」という思いを職員会議で共有し、人権意識の向上につなげています。保護者に向けても懇談会やクラスだよりなどで常に発信するよう心がけています。</li> </ul>
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故発生時の対応マニュアルを明確にし、職員に周知されるとより良いでしょう。</li> <li>不審者侵入時の対応マニュアルを整備されるとより良いでしょう。</li> <li>園児の給食について、残食の調査記録や検食簿を作成されるとより良いでしょう。</li> </ul>

\*それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

# 京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9－2]

## 【保育所版】

### 評価結果対比シート

(注)判断基準「a b c」について

【平成28年度以前の基準とは異なるため、当評価結果との対比はできませんのでご留意下さい】

(a)は質の向上を目指す際の目安となる状態、(b)は多くの施設・事業所の状態、(c)はb以上の取り組みとなることを期待する状態、に改定されました。改訂後の評価基準に基づいた評価では(b)が一般的な取り組み水準となり、従前に比べて(b)の対象範囲が広がります。また、改正前に(a)であった評価項目が改正後の再受診で(a)を得られなくなる可能性もあります。

受診施設名	たかつかさ保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	令和2年 1月21日

## I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
			自己評価	第三者評価	b	a
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。		
[自由記述欄]						
・たかつかさ保育園が大事にしていきたいこととして、保育所保育指針の「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」だけではなく「どの子も大事」という思いを大木の太い幹にたとえ、枝葉や実の部分に職員の思いや願いを、根っこには行事や保育内容を書き込み、子どもや保護者と共に保育をつくっていけるよう明文化しています。それは園のパンフレットやホームページに記載しています。						

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果		
			自己評価	第三者評価	b	a	
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。			
		3	②	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。			
[自由記述欄]							
・園長は、保育の現状と園の運営状態を照らし合わせ、その環境の把握に努めています。労働組合が組織され、園長も、いち保育士から就任しており、職員としての気持ちと、園の経営という両面の思いを把握しながら、そのバランスが上手く保てるよう役員間で話し合い、改善に努めていますが、園舎建て替えや財務上の工夫などの大きな課題についての対策を十分に実施できていないと考えています。今後は、職員への周知を図りながら、それより良い環境に向けての取り組みを実施されるとなお良いでしょう。							

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果		
			自己評価	第三者評価	b	b	
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。			
		5	②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。			
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。			
		7	②	事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。			
[自由記述欄]							
・園運営に関する中・長期計画を策定しています。その内容は、課題、施設維持、保育改善計画などに項目分けし、園運営の方向性を示すものです。今後は、中・長期計画に数値目標など具体的な内容を設定し、それらを反映した単年度の事業計画を策定するとより良いでしょう。							

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果		
			自己評価	第三者評価	b	a	
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	①	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。			
		9	②	評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。			
[自由記述欄]							
・定期的に第三者評価を受診し、委員会の設置によりマニュアルの整備や、職員への周知に努めています。また、毎年全職員に自己育成シートとして自己評価を実施しています。今後は、その結果をもとに職員個別の対応だけでなく、園全体としての課題と考えられる内容についても職員間で共有し、改善できるよう取り組まれるとより良いでしょう。							

## II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
			自己評価	第三者評価	自己評価	第三者評価
II-1 管理者の責任とリーダーシップ	II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	①	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	a
		11	②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	a
	II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	①	保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	b	a
		13	②	経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b	b

## [自由記述欄]

・園長は、主任と協働し幹部会議、乳児ブロック会議、幼児カリキュラム会議、給食委員会をそれぞれ月1回開催、行事会議や全体会議、適宜開催するフリー会議にも出席し、園の理念に沿った運営に努めています。また、専門部活動（保健部や園芸部など）や各層（ベテラン、中堅、5年目までの職員）の会議を実施し、保育の現状を認識するよう努め、他の職員にもそれらの情報を伝えています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
			自己評価	第三者評価	自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	①	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	a
		15	②	総合的な人事管理が行われている。	b	a
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	①	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	b	a

## [自由記述欄]

・人員体制に関する基本的な考え方や人事管理に関する方針が確立されています。職員アンケートを実施し、就業状況や意向の把握に努め、労務管理面もタイムカードの導入や、残業、有給休暇の取得の把握など、法令順守による業務内容の改善を実施しています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
			自己評価	第三者評価	自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	①	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b	a
		18	②	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b	a
		19	③	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	a
	II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	20	①	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	a

## [自由記述欄]

・職員に対する研修計画が策定されており、それに基づいて研修に参加しています。また、年1回実施する法人全体の研修や、園内研修として、法人大綱や人権ガイドラインの職員間での読み合わせや、「流れる日課」として個人の生活のリズムを尊重した保育を職員間で共有できるよう取り組んでいます。それらの取り組みは、年4回発行される法人新聞で公開し、法人内の情報共有にも努めています。

・実習マニュアルに沿って養成校の意向を考慮しながら、効果的な実習が行えるよう努めています。評議会議を実施し、園長と担当保育士、実習生が必ず参加し、それぞれの意見を取り入れています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
			自己評価	第三者評価	自己評価	第三者評価
II-3 運営の透明性の確保	II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	a
		22	②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b	b

## [自由記述欄]

・今後は、外部監査による事業や財務に関するチェックを実施されるとより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
			自己評価	第三者評価	a	a
II-4 地域との交流、地域貢献	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	①	子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	a
		24	②	ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	a
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	25	①	保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	a
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	26	①	保育所が有する機能を地域に還元している。	b	a
		27	②	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	a

## [自由記述欄]

- ・ボランティア受け入れを、数多く行っています。蚕の繭からの生糸採りに、ボランティアで技術援助を受けると共に、そこからの繋がりで美山町の「京都桑田村」との交流に発展し、年に数回園児が現地に訪れたり合宿を行うなど、蚕飼育を通して美山町との交流を積み重ね、子どもたちの体験が充実したものとなるよう取り組んでいます。
- ・関係機関・団体のネットワーク関係図を作成し、職員が連携内容を把握しやすいよう工夫しています。
- ・地域子育て支援センター事業を実施しており、園庭開放や育児相談、子育て講演会などを実施しています。それらの内容は、地域向けの子育て便り「すてきななかま」を発行し周知に努めています。隣接する児童館と協同して、こどもまつり、育児講座も行っています。また、園の40周年記念行事では、園児と共にみこしを作り、担いで町内を回るなど、地域とのつながりを大切にしています。

### III 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	評価細目			評価結果	
						自己評価	第三者評価
III-1 利用者本位の福祉サービス	III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	①	子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。		a	a
		29	②	子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。		b	a
	III-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	30	①	利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。		b	a
		31	②	保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。		b	b
		32	③	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。		b	b

## [自由記述欄]

- ・子どもを尊重した保育について、特に力を入れており、子どもの権利条約をベースに「どの子も大事」という思いを職員会議で共有し、人権意識の向上につなげています。保護者に向けても懇談会やクラスだより等で常に発信するよう心がけています。
- ・個人情報保護に関するマニュアルを作成し、全職員に配布しています。ホームページに載せる写真掲載についても、書面で承諾を得るようにしています。
- ・園見学を随時受け付けています。見学者には園のパンフレットを配布すると共に、保育の様子を写真に収めパワーポイントで見学者の方にも都度見ていただき、より保育内容を理解してもらえるよう工夫しています。ホームページも定期的に更新し、新しい情報の提供に努めています。
- ・転園に関しては、引継ぎ文書を提出しています。要支援児については、必ず申し送り事項を作成しています。今後は、それらの内容を文書化し周知されるとより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目			評価結果	
						自己評価	第三者評価
III-1 利用者本位の福祉サービス	III-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	33	①	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。		b	b
		34	②	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。		a	a
		35	③	保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。		b	b

## [自由記述欄]

- ・苦情解決の方法が定められており、保護者に説明しています。保護者からの要望などに対しては、迅速に対応しています。法人内に苦情委員会を設置し、苦情内容や解決方法の情報共有に努めています。今後は、苦情や要望の内容や解決方法を保護者にも公表されるとより良いでしょう。それと共に、迅速に対応している内容についてもマニュアルを整備し、職員間で共有されるとより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目			評価結果	
						自己評価	第三者評価
III-1 利用者本位の福祉サービス	III-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	①	安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。		b	b
		37	②	感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。		b	a
		38	③	災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。		b	a
		39	④	不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。		b	b

## [自由記述欄]

- ・ヒヤリハット収集や安全確認チェック等を実施しています。今後は、事故発生時の対応マニュアルを明確にし、職員に周知されるとより良いでしょう。
- ・感染症に関するマニュアルが整備されています。感染症が発生した場合は、個人の名前が特定出来ないよう、人数などを公表し、対応方法も掲示しています。
- ・第三者評価受診を機に防災マニュアルの見直しを実施し、職員への周知も行っています。備蓄倉庫を設け、災害発生時に全園児が3日間過ごせるよう食料や備品類を備えています。また、安全対策として園の出入りを監視するカメラ3台と、各保育室にビデオカメラを設置しています。今後は、不審者侵入時の対応マニュアルを整備されるとより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
III-2 福祉サービスの質 の確保	III-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な 実施方法が確立している。	40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されて いる。	b	a
		41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立してい る。	b	a
	III-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉 サービス実施計画が策定されてい る。	42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b	a
		43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a	a
	III-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に 行われている。	44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間 で共有化されている。	b	a
		45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	a

## [自由記述欄]

- ・保育についての標準的な実施方法が文書化されており、その内容は定期的に見直しを実施しています。
- ・年間指導計画、短期指導計画の内容は、幹部会議・乳児・幼児の各会議、各クラスからの提案を協議し決定し、全体的な計画の方向性を反映したものとなっています。園の理念や方針、短期指導計画の内容は、クラス便りや各保育室への掲示により保護者へ知らせています。
- ・子どもの個人記録を実施すると共に、全園児を対象に「育ちの記録」としてエピソード記述を行い、それに保護者からのメッセージも記入してもらい、保護者からの思いの伝わる良い記録となっています。幼児については、これを個人記録の代わりとし、丁寧な記述を心がけています。

## A-1 保育内容

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
			自己評価	第三者評価		
A-1 保育内容	A-1-(1) 全体的な計画の編成	46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭 及び地域の実態に応じて全体的な計画を編成している。	a	a	
	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことができる環境を整備している。	a	a	
		48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	a	
		49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	b	a	
		50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	a	

## [自由記述欄]

- ・園内は大きなガラス窓に囲まれ採光に配慮されています。床材は全て天然木を使用しています。遊具のほとんどもオリジナルの木製遊具で、プラスチック製の玩具を使用しないなど、子どもが過ごす環境に配慮しています。
- ・園庭は、保護者らと共に制作した木製遊具やチェーンソーアートのオブジェなどを中心に、実のなる木々を中心に生い茂り、子どもたちが自然と遊び込める環境を整備しています。
- ・一斉保育は実施せず、子どもの主体の保育を心がけています。保育者による指示言葉を無くし、その子らしさを大切にした関りを大事にしています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
			自己評価	第三者評価		
A-1 保育内容	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	51	⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a	
		52	⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a	
		53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a	
		54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	a	
		55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a	
		56	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	b	b	

## [自由記述欄]

- ・0・1・2歳児の保育室は、家庭的な雰囲気で、子どもが落ち着いて園生活が送れるよう配慮されています。また、「流れる日課」と「育児担当制保育」に取り組み、子ども一人一人に対する丁寧で家庭的な関わりを心がけています。
- ・3歳以上児は、食事の配膳や掃除活動などを当番活動で全員が取り組めるよう配慮しています。また、異年齢で過ごす時間を多く持ち、子どもたちが主役となって様々な活動が出来るよう、園内や園庭の環境を整備すると共に絵画や絵本の読み聞かせ、造形活動などにも取り組んでいます。
- ・障害児保育は、療育施設と定期的に連携をとったり、京都市保育園連盟に委託されている巡回相談と協力し、発達状況の把握と適切な育ちの支援が出来るよう取り組んでいます。
- ・小学校の運動会を見学するなど交流を図っています。今後、小学校の先生に、園の保育内容を知ってもらえるよう働きかける予定であり、より以上の連携を図れるよう計画しています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(3) 健康管理	57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	b	b
		58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	b	a
		59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b	a
	A-1-(4) 食事	60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	b	a
		61	② 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	b	b

## [自由記述欄]

- ・健康診断や歯科健診は、定期的に実施し、その内容は保護者に個別文書で知らせています。また、その結果で職員間で共有が必要なものについては、会議で周知し対応しています。今後は、子どもの保健計画を作成し方針や取り組みを明確にするとより良いでしょう。
- ・アレルギー疾患を持つ子どもに対しては、専門医の指示に基づいて除去食を提供したり、誤食防止の為のチェックを3重に実施するなどの取り組みを行っています。
- ・給食委員会を毎月開催し、食事が楽しめるよう子どもの給食時の様子や食育について共有するようにしています。毎月、給食だよりを発行し、それらの内容は保護者にも知ってもらえるよう取り組んでいます。年長児は、誕生日に好きなおやつを食べたり、年度末の3月にリクエストメニューとして、全員の好きな給食が提供されます。また、園庭になる木の実を利用したジャムづくりも行っています。今後は、残食の調査記録や検食簿を作成されるとより良いでしょう。

## A-2 子育て支援

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	a
		63	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	a
	A-2-(2) 保護者の支援	64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び 虐待の予防に努めている。	b	a
		65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b	b

## [自由記述欄]

- ・全園児に連絡ノートがあり、子どもの健康状態や園に対する要望がある場合は、保護者に記入してもらい保育士に伝わるようにしています。職員間の連絡引継ぎは、クラス別の指定メモがあり、必ず担任、遅番担当職員へと伝わるようにしています。
- ・クラス懇談会を年3回実施しています。希望者には、それ以外の時期でも個別面談対応を行なっています。その内容は、適切に記録されています。
- ・保護者が参加する行事は、運動会や発表会以外にも、年2回の大清掃（びかぴかデイ）、夏祭りなどがあり、保護者に園の方針を理解してもらう機会を設けています。
- ・虐待防止マニュアルを整備しています。職員間で虐待に対する知識を共有し、通告を行なう体制を整えています。